



企画にあたって

安藤 献児

(小倉記念病院副院長 / 循環器内科主任部長)

心臓カテーテル検査・治療は安全性が高まり、多くの若い先生が検査・治療に携わるようになりました。一方で、安全性の向上により、若い先生方に合併症の経験が少なくなってしまうています。どんな先生でも経験したことのない合併症が起こってしまうと対応が後手に回り、状況が悪化してしまいます。そんなときに、「もしかしたらあの合併症かも」とか、「こんなときはこう対処したらいいはず」という術を知っているとうまく切り抜けられるでしょう。

そこで、本特集はカテーテル検査・治療に伴う合併症をまとめて勉強することで、日常診療での万が一に備えることを目的として企画しました。

各項目を担当していただいた先生方には、カテーテル検査に関する合併症・冠動脈インターベンション時の合併症、その他の合併症の成因から対処方法まで、かなり細かいところまで記載いただきました。その充実した内容から、読者の先生方は、まだ遭遇したことのない合併症のことを知識として吸収できるようになっています。そして、いざというときへの対応ができるようになっています。

本特集を通読して、明日から自信をもって臨床の現場で活躍しましょう！